
看護方法論Ⅰ（生活援助）

坂本 由希子 准教授
岩根 直美 准教授
大西 修平 助教
野々口 陽子 助教
米島 望 助教

1 年次後期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目標】

概要：あらゆる健康レベルにある人々の生活過程を理解し、人々が安全で安楽な生活を行うための基礎的な援助技術を習得する。看護技術の習得は、人間への尊厳を土台として、手順や方法だけでなく専門的な知識をふまえて、状況を判断する能力が必要であり、根拠に基づいた実践が行えるように学習する。

- 目標：1) ボディメカニクスや体位変換および移動について学び、それらを整える技術を習得する。
- 2) 休息や睡眠、また運動や活動について学び、それらを整える技術を習得する。
- 3) 身体の清潔について学び、それらを整える技術を習得する。
- 4) 栄養と食事について学び、それらを整える技術を習得する。
- 5) 排泄について学び、それらを整える技術を習得する。

【授業内容のスケジュール】

- 1) ガイダンスおよび人々の生活過程の特徴
- 2) ～4) 運動と活動・睡眠と休息に関する技術
- 5) ～9) 衣生活と清潔に関する技術
- 10) ～11) 栄養と食生活に関する技術
- 12) ～14) 排泄に関する技術
- 15) まとめ

【評価】

筆記試験（70%）、技術試験（20%）、レポート・出席や演習などの学習態度（10%）

【教科書】

坪井良子・松田たみ子編「考える基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ 第3版」ニューヴェルヒロカワ
任和子他編「根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 第2版」医学書院

【推薦参考図書】

三上れつ・小松万喜子編「演習・実習に役立つ基礎看護技術 第4版」ニューヴェルヒロカワ
阿曾洋子・井上智子・氏家幸子著「基礎看護技術 第7版」医学書院
川島みどり著「改訂版 実践的看護マニュアル 共通技術編」看護の科学社
吉田みつ子・本庄恵子編著「写真でわかる 実習で使える看護技術」インターメディカ
志自岐康子他編「ナーシング・グラフィカ 基礎看護学③ 基礎看護技術 第6版」メディカ出版
その他（講義の中で紹介）

【その他】

学習サポート：実習室において自己学習と技術指導を受けることができます。（曜日などの詳細は別途）